



プロジェクト、いよいよ本格始動!!

探究学習「スモールスタート」レポート(第2弾)

探究学習プログラム「スモールスタート」が、生徒たちによって、本格的に始動しました。「身近な“あるある”から革命を起こす。キミ自身が世界初、その挑戦が世界新。」をテーマに、生徒たちは日常生活で感じる小さな「不便」や「不満」に真剣に向き合い、その解決策をユニークな視点から探究しています。今回は、これまでの活動の様子と、生徒たちの素晴らしい変化についてご報告いたします。



探究の種を見つける「日常の“あるある”洗い出し」

プログラムの最初のステップとして、生徒たちは各自が「探究の種」となる身近な課題を洗い出す活動を行いました。

- ・授業中の気づき: 「教科書やノートの整理が面倒」「教室の移動で荷物が多くて大変」
- ・家庭での不便: 「朝、何を着ていくか迷う」「冷蔵庫の奥にある食材を忘れがち」
- ・地域社会での発見: 「通学路のゴミが気になる」「買い物のレジに並ぶ時間がもったいない」

これらの「あるある」を付箋に書き出し、共有することで、生徒たちは身の回りにどれほど多くの課題が潜んでいるかに気づきました。最初は戸惑っていた生徒たちも、次第に「それ、わかる!」と共感し合い、活発に意見を交わす姿が見られました。

チームでアイデアを練る!「コンセプトシート作成」

次に、それぞれのアイデアを具体的なプロジェクトに落とし込むため、チームごとにコンセプトシートを作成しました。この段階では、単に「こんなものがあればいいな」という発想だけでなく、以下の点を深く掘り下げて思考しました。

- ・誰のための課題解決か?: ターゲットを具体的に設定
- ・どんな価値を提供するのか?: コアとなる解決策を言語化
- ・どんな商品・サービスか?: 具体的な形をイメージ

チーム内では「どうしたらもっと面白くなるだろう?」「本当にそのアイデアは役に立つの?」といった、活発な議論が繰り広げられました。初対面で緊張していた生徒同士も、共通の課題解決に向けて協力する中で、自然とコミュニケーションが深まりました。



生徒たちの変化:主体的な学びへ

この数週間の活動を通して、生徒たちに少しずつですが、次のような変化が見られました。

- ・視野の広がり: 以前は当たり前だと思っていた日常の出来事に対し、「なぜ?」「どうすれば?」という探究の視点を持つようになりました。
- ・発想力の向上: 既存概念にとらわれず、自由な発想で課題解決に取り組むようになりました。
- ・チームワークの醸成: チームで意見を出し合い、ぶつかり合いながらも、より良いアイデアを生み出す協働の姿勢が育まれました。

今後の展望

今後は、コンセプトシートを基に、より具体的な企画を練り、プロトタイプを作成やプレゼンテーションへと進んでいきます。生徒たちの探究の旅は、まだ始まったばかりです。保護者の皆様におかれましても、ご家庭でぜひ、生徒たちのアイデアや活動内容について耳を傾け、応援していただくと幸いです。

